

令和3年度 年間授業計画

都立南平高等学校

学年 必・選	2学年 必修	教科	数学	科目	数学 B	単位 数	2
教科書	改訂版 高等学校 数学B (数研出版)			使用教材	サクシード 数学B 練習ドリル 数学B		
授業 担当者名							

		指導内容	指導目標	予定 時数
一 学 期	中間 考 査	1章 平面上のベクトル 1節 平面上のベクトルとその演算 ベクトル、ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積	ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。ベクトルの内積を図形上で考えることができ、数式で表すことができる。	12 時間
	期末 考 査	2節 ベクトルと平面図形 位置ベクトル ベクトルの図形への応用 図形のベクトルによる表示	平面ベクトルの基本的な概念について理解する。内積による直線のベクトル方程式や円のベクトル方程式の数学的な見方や考え方を考察し、活用することができるようにする。	14 時間
二 学 期	中間 考 査	2章 空間のベクトル 空間の点、ベクトル ベクトルの成分、内積 ベクトルの図形への応用 座標空間における図形	内積のもつ図形的な意味を探ろうとする。ベクトルの諸性質が平面の場合と同じであることを理解して、球面や四面体などの図形についてベクトルを利用できるようにする。	14 時間
	期末 考 査	3章 数列 1節 数列と一般項 等差数列とその和 等比数列とその和 和の記号 Σ	数列の定義、表記について理解している。数列に関する用語、記号を適切に用いることができる。等差数列の公差、一般項などを理解している。等比数列の公比、一般項などを理解している。	14 時間
三 学 期	学 年 末 考 査	2節 いろいろの数列 階差数列 いろいろの数列の和 漸化式 数学的帰納法	和の記号 Σ を用いた階差数列の一般項やいろいろの数列の和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	16 時間
	計			70 時間

評価の 観点・方法	定期考査（中間、期末、学年末考査：計5回）での得点、課題の提出状況およびその内容、平常の授業に取り組む態度などを総合的に判断し評価する。尚、担当者の区別なく、同一考査問題で考査を受ける。考査範囲については、若干変更になる可能性がある。
--------------	---